

研究テーマ:Auto-IDネットワークアーキテクチャに基づいた電子タグ相互接続検証(1/2)
(プロジェクト番号 JGN2-A16068)

研究機関: 慶應義塾大学、NTTコミュニケーションズ株式会社

研究の概要:

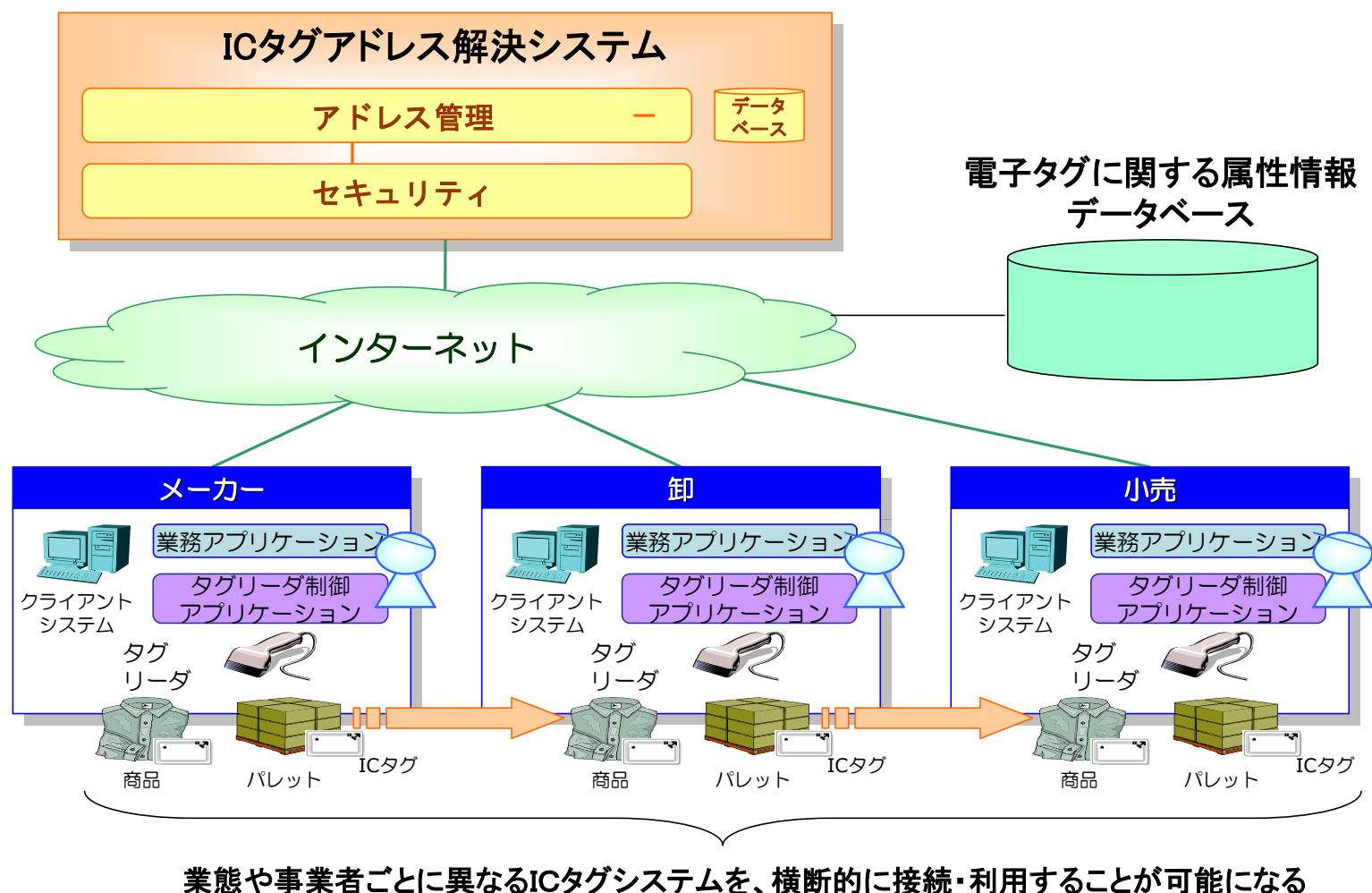
Auto-ID ラボ・ジャパンで研究されているネットワーク技術の方式に基づいて、電子タグの属性情報を検索するための標準ネットワークを複数構築し、それらの接続実証実験や電子タグに関する各種ソリューションにおける互換性やインタオペラビリティの検証、およびグローバルなネットワーク環境において IC タグの情報を流通させる実証実験を実施いたしました。また、電子タグ高度利活用技術に関する研究開発を目的とした、各種連携接続検証を行っております。

研究の目的:

電子タグやそれに関するシステム・各種製品の相互接続性、互換性、相互運用性(インタオペラビリティ)の検証と実証実験をオープン環境で実施することで、電子タグの高度利活用技術の研究開発を推進し、電子タグの情報流通ネットワーク環境の実現を目指しています。

実験機器構成:

【ネットワーク構成図イメージ図】



研究テーマ: Auto-IDネットワークアーキテクチャに基づいた電子タグ相互接続検証(2/2) (プロジェクト番号 JGN2-A16068)

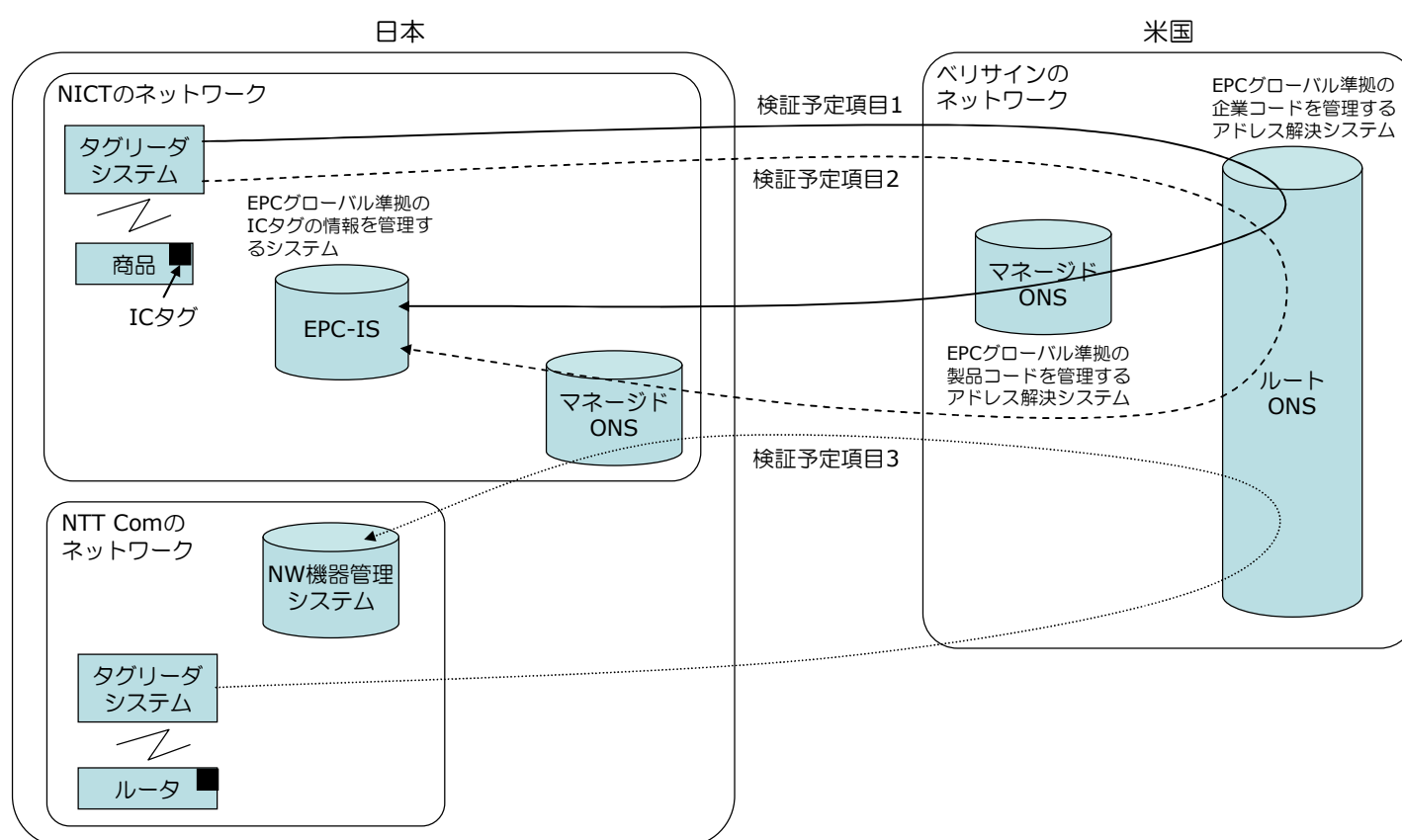
研究機関: 慶應義塾大学、NTTコミュニケーションズ株式会社

研究開発状況:

NICT 小金井電子タグ実験ルームに設置した動作検証用プロダクトを使用して、JGN2 を介して、ベリサイン社が米国に設置している企業コードを管理する「EPCglobal」準拠の基幹アドレス解決システム、およびその配下の企業の製品コードを管理するアドレス解決システムを経由して、NTTCom が準備した製品に関する情報を管理する情報管理システムに接続し、IC タグに対応する情報を取得できることを確認しました。

また、米国に設置した企業コードを管理する「EPCglobal」準拠の基幹アドレス解決システムから、日本に設置された配下の企業の製品コードを管理するアドレス解決システムを経由して、NTTComが準備した製品に関する情報を管理する情報管理システムに接続し、ICタグに対応する情報を取得できることを確認しました。

その他、情報家電の高度利活用技術に関する研究開発の一環として、IPv6 ネットワーク環境において、ICタグ情報をセキュアに流通できることを確認し、その接続性について検証を行いました。



今後の予定:

引き続き、情報家電の高度利活用技術に関する研究開発と各種検証・実証実験を行ってまいります。